

デジタルハリウッド STUDIO 佐賀

最新のweb情報を学ぶ

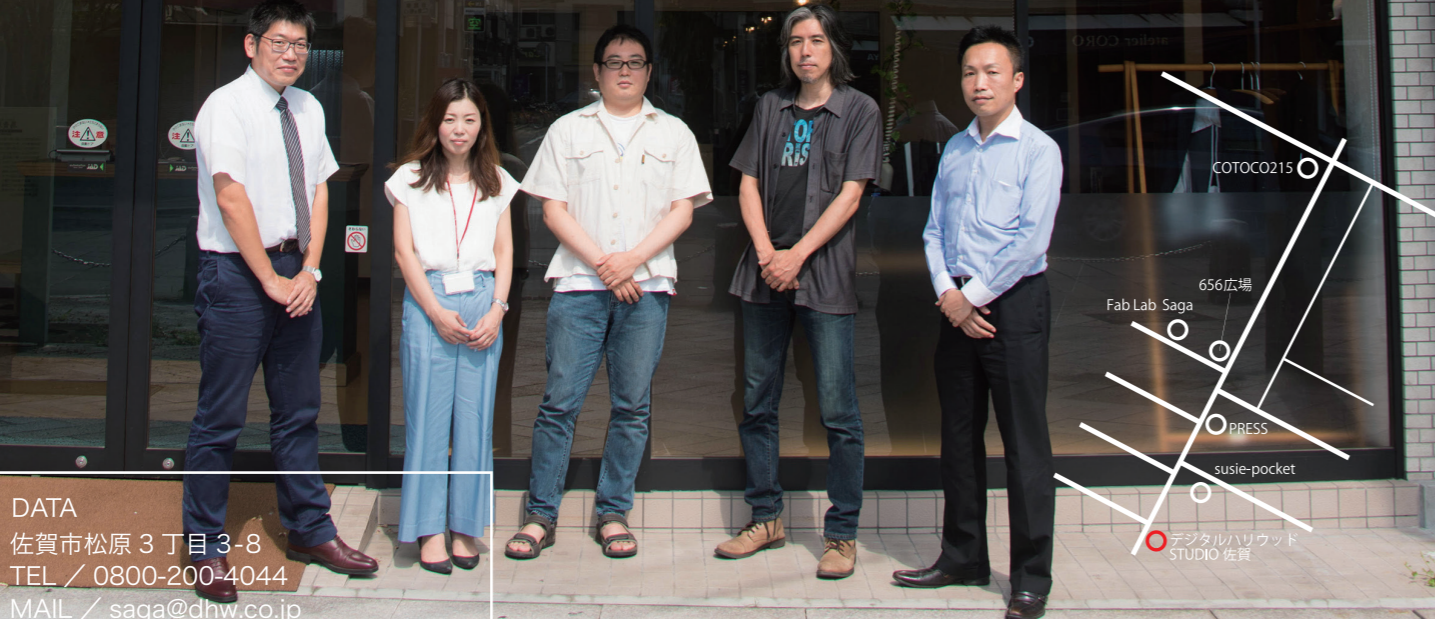
旧 佐賀銀行呉服町支店の貫禄ある建物を眺めながら橋を渡った先の辻の角地。松原社境内の緑が目飛び込んでくる落ち着いた雰囲気のある街並みの中にある、まるでオープンカフェのような行末の空間。それが「デジタルハリウッド STUDIO 佐賀」だ。

同スタジオは今年4月、webクリエイターなどの人材を育て、佐賀での起業や新しいビジネスの促進により地域を元気づけることを目的にスタートした。大学・大学院を併設し、産業界から信頼を集める日本で唯一のクリエイター教育機関である「デジタルハリウッド」が開発した最新のトレンドを反映した教材を使用。スタジオではweb制作現場などの第一線で働いているスタッフがトレーナーとして、ほぼマンツーマンで指導する。教材はスマホでも確認できるため、どこでも予習復習できる。またwebで事前予約すれば、自分の好きな時間に学習することが可能。働きながら、別の学校に通いながら、知識と技術を深めることができる。

現在、学生は20〜30代が中心で男女半分ずつ。カリキュラムは3〜12カ月と幅広い。スタッフ

は「全く経験がない人も短期間でwebをある程度作れるようになります」と語る。主婦やママ向けの講座もあり、スタジオ内には子どもを遊ばせる空間もある。「講習会ではケーキとお茶を楽しみながらわいわい楽しく発表しています」とスタッフ。

「人材の育成と同時に、県外に流れている仕事を佐賀に取り戻し、卒業生の仕事を佐賀に戻す。実際の仕事をこなすことでデザイナーのスキルを上げ、佐賀のwebデザインの質を向上させることも目標です」とスタッフ。最先端のweb情報を学び、新たなクリエイションで地域の魅力を高めていく。



DATA
 佐賀市松原 3丁目 3-8
 TEL / 0800-200-4044
 MAIL / saga@dhw.co.jp
 http://school.dhw.co.jp/school/saga/

特集

クリエイティブ！ 呉服元町界隈



か つて百貨店などが林立し、佐賀市のお買い物の中心として栄えた呉服元町。そのシンボルとなっていたアーケードが撤去されて6年以上が経つ。空が見えるようになった道は歩行者専用になり、シェアオフィスやハンドメイドのお店など、新しい形のクリエイティブなお店が徐々に増えてきた。静かに変わりつつある呉服元町。その様子をレポートする。

オリジナルTシャツプリントショップ PRESS

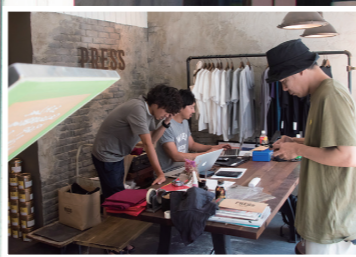
「この通りは車が通らないので人が落ちて着いて過ごすことができます。家賃を含め起業するには良い街だと思います」と菊池さんは語る。遊びと仕事の両立。そんな理想を現実にする可能性がここにはある。

夕方になると、通りに出しているベンチには菊池さんと同じ世代が集まり出す。スタッフもダンスつながり。お客さんもその人脈から広がった。656広場では、高校生がダンスの練習を始める。「音が大きくて周囲に迷惑をかけているな」と感じたら、ちょっと声を掛けることもあります」と菊池さん。街の風通しを良くする格好良いお兄さんという側面もある。

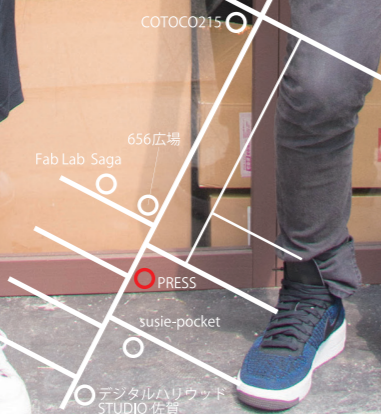
代表の菊池裕太さんはストリートダンス出身。佐賀での高校時代から始め、大阪で仕事をしながら技を磨いた。フランスやドイツで3カ月、勉強したこともあったという。24歳で佐賀に戻り、実家のブティックの手伝いをしていたが独立を決意。「サラリーマンは性に合わなかったので、会社を作ることにしました。行くのが苦にならないうような場所。仕事場であり遊び場であるようなところを作りたい。Tシャツ屋さんにはダンスチームのTシャツを作っていたので馴染みがありました。デザインを考えたたり、形になるのが面白かったのでこの職業で起業しました」。

仕事と遊びの両立

ガラス戸越しに大きなプリント機械が見える。どっしりとした質感が築100年の空間と溶け合っている。鉄のフレームの打ち合わせテーブルと工場のような照明器具。まるでNYのアーティストスタジオみたいだな、と思っていたら味のある土間に無造作にウォールホルとバスキアのポスターが置かれていた。Tシャツプリントの専門店「PRESS」は2014年オープン。シルクスクリーンという技法にこだわり、学生を中心に人気を集めている。



DATA
佐賀市呉服元町 8-6
TEL / 0952-37-5599
MAIL / info@press-saga.com



マチノシゴトバ COTOCO215

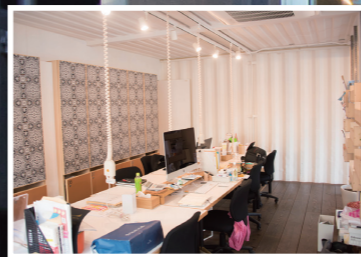
机一つから始まるまちづくり

エ スプラッツから東へ向かい、願正寺横の道と交差する角地にコンテナを3つ並べた印象的な建物がある。芝生で囲まれた空間の中には居心地良さそうなソファとテーブル。お洒落なカフェのような空間だが、主にシェアオフィスとして利用されている。

同施設は2014年にオープン。佐賀市出身の建築家・西村浩さんの設計会社「ワークヴィジョンズ」が運営している。コンセプトは「新しいかたちのシゴトバ 新しいマチのタマリバ」。佐賀の街なりに日常的な賑わいを取り戻したいという思いから生まれた空間だ。

シェアオフィスは年中無休24時間利用可能な「固定席」が机1つで月額2万8千円。ミーティングスペースや「ZINE」なども利用できる。オプションでポスト付きロッカーやプリンタが使用できるので、初期投資を抑えたい起業家にぴったりだ。

現在、アパレルや家具デザイン、中小企業診断士など5社が利用しているという。運営を担当する田中貴子さんは「それぞれ専門分野を持っている人が空間を共有することで相乗効果生まれています。アパレルさんが中小企業診断士さんのアドバイスで事業計画を立てたり、補助金に関する助言をもらったり。意欲的な人が多いので、お互いを高め合いながら仕事をしています」と語る。通り沿いのソファ席では、期間限定でこだわりのお店の出張カフェをしたり、浴衣を販売するポップアップショップを開催したりしている。「面白いことをする人たちが集まることで、ここに来たら何かがある、と思ってもらえる空間になればいいですね。それが広がって楽しい街になることが目的です」と話す田中さん。机一つから始まるまちづくり。地に足をつけた活動が少しずつ風景を変えていく。



DATA
佐賀市呉服元町 2-15
TEL / 0952-37-5883
(COTOCO215 担当: 田中貴子)
FAX / 0952-37-5884
MAIL / info215@co-cotoco.jp



オリジナルTシャツプリントショップ
PRESS
MENU
Tシャツプリント ¥1,500~
背番号+ネーム ¥2,500~
転写プリント ¥1,500~
オリジナルマグカップ ¥1,000~
0952-37-5599 OPEN 11:00

ママさんと社会をつなぐ

ハンドメイド susie-pocket.

6 56広場から南に下り、最初の角を柳町方向に曲がったところに今年7月にオープンしたハンドメイドのお店「susie-pocket」。同じ幼稚園に通う子どもを持つママさん5人組が中心となって立ち上げたお店だ。名前の由来になったのは幼稚園の運動会で子どもたちが踊ったストレッチダンス「Oh! スージー」だとい

う。当初はメンバーの家庭に集まり、幼稚園に子どもを預けている間に「くるみボタンゴム」などの小物を作り始めたのがきっかけ。作ったものをいろんなイベントで販売するうちに、だんだんと本格化。拠点を構えるまでに

なった。お店にはメンバーの作品のほか、イベントなどで知り合ったハンドメイド作家のものが並ぶ。赤ちゃん用のものが目につくのがママさんらしい。値段も一番高く2千円くらいと手ごろなものが多い。「ハンドメイド」というと高いというイメージがありますが、子どもたちのお小遣いでも買えるように、極力、価格を抑えています」とメンバーの田中藍さん。

販売だけでなく、平日はここで製作を行う。「店に遊びに来たママさんに作り方を教えたり、逆にすごいテクニックを教えてもらったり。店というよりママさんが集まる場所になっていきたいです」と田中さん。メンバーの前田由理さんも「ママになると家の中で生活が閉じてしまいがちになります。子育てしながら社会と繋がる場所になれば」と語る。田中さんも前田さんも「この通りは歩行者専用道路なので、子どもを遊ばせやすいです」と声をそろえる。今年10月末にはハロウィンに合わせたイベントを企画しているという。



DATA
佐賀市呉服元町 8-7
MAIL / susiefarm@gmail.com



DATA
佐賀市呉服元町 2-30
TEL / 0952-97-7664

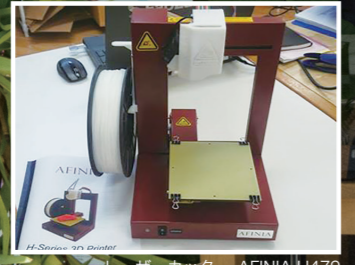
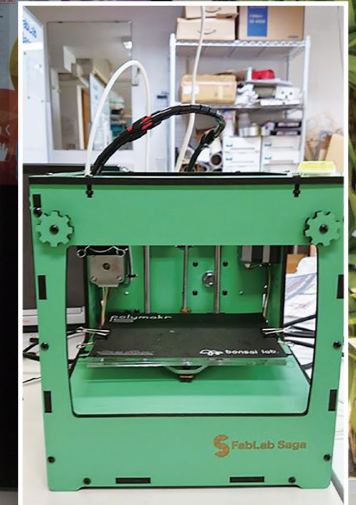
伝統と最新技術の融合を目指す

FabLab Saga

6 56広場の並びにある「FabLab Saga」は3Dプリンタなど最新の工作機器揃えたお店。デザイナーやエンジニアを中心に、一点物製作の拠点として人気を集めている。

「オープンしたのは2014年7月5日です。銀天夜市のスタートに合わせました」と語るのは代表の陣内和宏さん。近所の松原町出身で、呉服元町は遊び場だったという。「だんだんと寂れて行くのを見て寂しく思っていたのですが、わいわいコンテナなどができて雰囲気が変わり始めたのを見て、ここにファブラボを作ったら、まだまだ良くなると思います、呉服元町に店を作ることになりました」と語る。コンピュータ関連企業に勤めていた陣内さんがファブラボを立ち上げるきっかけとなったのがクリスマス・アンダーソンの「MAKERS」という本。「偶然本屋さんで手に取りまして販売できるような時代の到来を知らせる書籍で、その中でファブラボという業態があることを知り、自分もメーカーになりたい。そのためにそろえた機材をファブラボとして一般の方にも公開したら町おこしにも貢献できるのではと考えました」。

現在、同店には3Dプリンタ、レーザーカッター、CNCミリングマシン、ペーパーカッター、3D スキャナ、刺しゅうミシンなど、一般的にファブラボが必要とされている機材は一通り揃えている。使用法は素人にも分かりやすくスタッフが教えてくれるほか、別料金で加工代行も受け付けている。「一般の方でも、こんなもの作りたいんだとできるかな? 尋ねてくる人も多いですよ」と陣内さん。現在、陣内さんは佐賀の伝統工芸・佐賀錦の教室に通っているという。「佐賀錦は全ての工程が手作業で大変なものです。これを手作業の良さを生かしながら、機械にできることは機械にやらせて効率化するのが目下の目標です」と語る。伝統と最新の機械の融合、クリエイティブな世界がここにある。



DATA
佐賀市呉服元町 2-30
TEL / 0952-97-7664

